

2025年12月25日

# 陵ヶ岡児童館 おひさまきらきら プロジェクト

子どもたちがキラキラ輝く  
みらいのために

陵ヶ岡児童館  
おひさまきらきら発電所が  
できました!



この度、NPO 法人きょうとグリーンファンドはじめ多くの方々にご支援ご協力を得て、「おひさまきらきらプロジェクト」が発足し、念願であった児童館の屋根に、おひさま発電所が設置されました。これによって法人としては、21 年前に設置された隣接する陵ヶ岡こども園とともに、児童館、学童クラブでも環境学習への興味を一層膨らませる機会を得ることができました。

陵ヶ岡児童館は、固い岩盤の上に立っており、今後災害時の避難場所や通信機器の充電など、地域へも発信する機会を考えていきたいと思ひます。社会福祉法人として、日ノ岡という由緒ある土地であることに誇りを持ち、豊かな環境づくりの場となる「おひさま発電所」であり続けられるよう、これからも活動していきたいと、心を新たにしております。

これまでの皆様の温かいご支援ご協力を感謝するとともに、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

社会福祉法人鏡陵福祉会 陵ヶ岡児童館  
理事長 中村 かよ

## ごあいさつ



陵ヶ岡児童館のおひさま発電所の完成おめでとうございます。2004 年に陵ヶ岡こども園に太陽光発電が設置され、環境への取り組みを継続してこられた積み重ねがあって、今回のおひさまきらきらプロジェクトによって、太陽光発電設備、蓄電設備、EMS が設置されたこと、大変嬉しく思います。多くの方々からご支援いただき心から感謝申し上げます。

気候の危機による影響が、ここ京都でも現実起こっていて、特に子どもたちの健康や生活環境に与える悪影響の危険性が高まっています。今回、陵ヶ岡児童館におひさま発電所が設置されたことで、自然の恵みで発電・蓄電、節電ができることに加えて、気候危機に関する気づきや学びも広まっていくことでしょう。子どもたちが安心して、学び、遊び、ふれあい、助け合うことができる児童館になり、子どもたちのみらいがキラキラ輝き、魅力ある地域になるはず。その実現に向けた取り組みに私たちも一緒にさせていただきたいと思ひます。

市民再エネプロジェクト in 京都・認定 NPO 法人 きょうとグリーンファンド  
理事長 田浦 健朗

## はじまりました！ おひさまきらきらプロジェクト

### ① 計画スタート！



仲良くならんだ児童館とこども園の太陽光パネル

2004 年社会福祉法人鏡陵福祉会 陵ヶ岡保育園（現こども園）に「りょうがおかほかほか発電所」が誕生しました。あれから 21 年、「児童館の子どもたちにも自然の恵みに感謝する気持ちをはぐくんでほしい……」と児童館のおひさまプロジェクトがはじまりました。

### ② スタッフ学習会



「太陽エネルギーを身近な存在に！ なぜおひさま発電所なの？」と題して、ひのでやエコライフ研究所 山見拓さん（きょうとグリーンファンド副理事長）のお話、「地球温暖化をくい止めるには省エネと再エネの活用が一番簡単！ 効果的！」



### ③ 寄付募集チラシ

募集チラシやポスターで多くの人に「おひさまきらきらプロジェクト」を呼びかけました。オンライン寄付サイト Give One でも寄付を募りました。

### ④ 太陽光パネル表と裏



太陽光パネルの裏に思い思いの絵を描きました。みんなが大人になっても、屋根の上で電気をつくり続けてくれるよ。

### ⑤ 陵ヶ岡児童館おひさま学習会「エコであそぼう！」



進行は 2 人の 5 年生。

先生の紙芝居



山見さんから質問「おひさま発電所は何ワット？」頑張った手回し発電機は 5 ワット！でした。

大きなすろろく「おなかいっぱい！ のこしてすてちゃった!?」2 つもどる……トランプ、かるたのカードゲームでも盛り上がりました。

## 点灯式！



### ① 点灯式は子どもたちから



5 年生の 2 人が点灯式の進行役。緊張したけど頑張りました！

### ② ご挨拶

中村理事長のご挨拶から

こども園に設置して 20 年余り、まだまだこれからですが、エコに取り組んできました。災害時には、ここが地域の人たちの避難所になります。



市民再エネプロジェクト in 京都 阿部 勇からご挨拶しました。

### ③ 来賓ご祝辞

プロジェクトの後援の京都府、京都市からご挨拶いただきました。



京都府総合政策環境部脱炭素社会推進課 参事 岡山 祥平 様

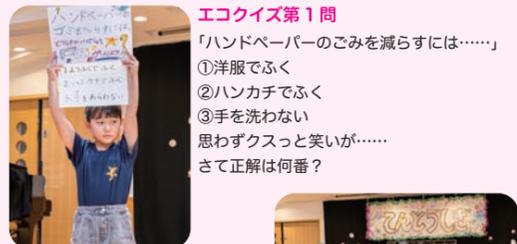
京都市環境政策局地球温暖化対策室エネルギー政策企画課 課長 関山 達郎 様

### ④ ミニ講座



京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長 川手 光春さん「なぜ今、おひさま発電所？」温暖化の影響はここ京都でも顕著に……2050 年 CO<sub>2</sub>ゼロをめざすには、省エネと再エネ。おひさま発電所を増やすのも◎

### ⑤ エコクイズ・エコ宣言



エコクイズ第 1 問

「ハンドペーパーのごみを減らすには……」

- ①洋服でふく
  - ②ハンカチでふく
  - ③手を洗わない
- 思わずクスッと笑いが……さて正解は何番？

### エコ宣言

自分たちで考え、言葉にしました。

- ・わたしたちは、ハンカチをもってきます。
- ・自分の水筒、マイボトルをもってきます。
- ・電気のスイッチや、機械をかってにさわりません。

### ⑥ ダンス



陵ヶ岡児童館キッズダンスのダンサーたち、キレッキレのダンスにみんな歳を忘れてノリノリ！

### ⑦ 点灯



いよいよクライマックス！ 点灯！ クリスマスのこの日、イルミネーションが太陽のパワーでキラキラ！

### ⑧ 発電所看板贈呈



看板の板は、市民再エネプロジェクトから……木は CO<sub>2</sub>を固定化してくれています。

### ⑨ 川島館長からご挨拶



プロジェクトが始まってからエコ活動に取り組みました。子どもたちが積極的で頼もしい。これからますます活動を進めます。

### ⑩ 歌「手のひらを太陽に〜♪」



### ⑪ 大人も子どもも「ハイ、パチリ！」



### ⑫ 太陽光発電・蓄電設備見学



発電モニター。

災害時は地域の人もつかえるように屋外に取り付けられた蓄電池。

## 陵ヶ岡児童館おひさまきらきらプロジェクトが始まり、陵ヶ岡エコメイトの活動をスタート！



エコ啓発ポスターを作成しました。お水の使い方やごみの捨て方など生活に身近なものから、地球環境に関わるもまで、子ども視点のメッセージにイラストを添えて、わかりやすく仕上げられました。このポスターは館内に掲示しています。製作中も楽しそうでした。



エコクイズを考えて、おともだちにも見てもらえるように、掲示物も作りました。このクイズは点灯式でも発表しました。



エコ学習会の司会もエコメイトの児童が担当しました。難しい言葉もありましたが、堂々と最後まで頑張りました。緊張は、しなかったとのこと。

これから子どもたちからアイデアをもらいながら、子どもたちとともにエコ活動に取り組んでまいります。発電量の計測などもこれから毎日おこなっていく予定です。

この事業は、社会福祉法人鏡陵福祉会 陵ヶ岡児童館と市民再エネプロジェクト in 京都が協力して、京都市山科区にある陵ヶ岡児童館に、市民共同で太陽光発電設備、蓄電設備と EMS を設置しました。費用は、市民や賛同する方々からの寄付、市民再エネプロジェクト in 京都「おひさま基金」、社会福祉法人鏡陵福祉会の資金（京都府自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金を含む）等でまかないました。

設置後は、陵ヶ岡児童館が環境に配慮した施設となるよう、市民再エネプロジェクト in 京都も協力して環境学習を進めていきます。

**後援** 京都府、京都市、特定非営利活動法人 KES 環境機構、  
公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンター指定管理者）

**協力** 有限会社ひのでやエコライフ研究所、太陽ガスグループ、Happy Energy

**導入する設備** 太陽光発電設備（13.2kW）、蓄電設備（7.04kWh）、EMS（エネルギーマネジメントシステム）

#### 発電所データ

**設置場所：**社会福祉法人鏡陵福祉会 陵ヶ岡児童館 **総事業費：**約 486 万円  
**設置日：**2025 年 12 月 25 日 **寄付額：**ゆうちょ払込による寄付 581,000 円（80 件）  
**発電能力：**13.2kW **オンライン寄付サイト Give One を通じての寄付**30,765 円(6 件)  
**年間予想発電量：**約 14,000kWh **寄付募集期間：**2025 年 10 月 15 日～2026 年 1 月 31 日

## 社会福祉法人鏡陵福祉会 陵ヶ岡児童館

陵ヶ岡児童館（旧 山科児童館）は、1972 年に市内で 8 番目、山科区で初めて設立されました。

2011 年度より、当児童館は社会福祉法人鏡陵福祉会が指定管理者となって運営を行い、2017 年度からは、同法人が新たに児童館を開設するという形で再出発することになりました。

太陽光発電は、同法人の陵ヶ岡こども園が 2004 年に設置して、エコへの取り組みを継続して行っており、この度、児童館も一丸となり、子どもたちの輝く未来のために、地球にやさしい太陽光発電と災害時の電源としての蓄電池を設置することとしました。

児童館のキャラクター「りょうちゃん」は、太陽がモチーフとなっております。おひさまのように明るく温かく、子どもたちを照らしています。



## 市民再エネプロジェクト in 京都

温暖化を防止するさまざまな活動を続けてきた団体が、市民共同発電所をさらに広げようと立ち上げたプロジェクトです。

寄付集めや助成金のノウハウ、太陽光発電の設置経験や知識を持つ非営利団体が集まったプロジェクトです。皆様の太陽光発電設備設置をサポートします。

**参加団体：**NPO 法人京都地球温暖化防止府民会議、認定 NPO 法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO 法人エコネット近畿、認定 NPO 法人環境市民、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド

温暖化を防ぎ、原発に依存しない社会を子どもたちに引き継ぐため、今私たち一人ひとりがすぐ出来る事のひとつが省エネ・節電です。かしこく効率的な電気の使い方を工夫することで、かなりの節電が可能です。節電分を寄付することで、持続可能な自然エネルギーを普及させることができます。ぜひ「おひさま発電所」づくりに、ご参加ください。



## おひさまでんきプロジェクト <https://happy-energy.jp/energy/ohisama/>

「必要なエネルギーは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー（再エネ）で 100%まかなう社会をめざそう」という想いから、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと太陽ガスグループ（新電力会社）がはじめた共同プロジェクトです。

「陵ヶ岡児童館おひさまきらきらプロジェクト」もこのプロジェクトの一つとして、太陽ガスグループが応援しました。

### 社会福祉法人鏡陵福祉会 陵ヶ岡児童館

〒607-8431 京都市山科区御陵岡町 36-1  
TEL：075-592-6776  
FAX：075-593-7923  
E-mail：ryogaoka@kyo-yancha.ne.jp

### 市民再エネプロジェクト in 京都

（事務局：認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド）

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角塚町 21 番地  
事務機のウエダビル 206  
TEL/FAX：075-352-9150  
E-mail：info@kyoto-gf.org  
URL：http://www.kyoto-gf.org

この印刷物は  
自然エネルギー  
（太陽光）を  
活用して  
印刷しました。



2026 年 3 月発行